

和名	分類	特徴ほか	会える場所											
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他								
ヒカゲチョウ	タテハチョウ科	比較的明るい色調 陽性のクロヒカゲ	x	x	○	全国								
			成虫発生時期 (月)											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			○ 食草		食樹		発生回数/年		越冬形態					
			メダケ、クマザサほか (イネ科)		2~3		幼虫							



生田緑地 8月中旬



クロヒカゲ 生田緑地 9月下旬

クロヒカゲ同様にハイムや多摩川土手にはいません。生田緑地のクヌギ、コナラなどの樹液に集まったり下草の葉上にとまったりしていますが、クロヒカゲに比べるとやや日当たりのよい場所を好むようです。生息している場所も羽模様も似通っていて色調の濃淡は個体により違うので、飛んでいるところだけでは、ヒカゲチョウかクロヒカゲかはっきりとはわかりません。

左の写真の上がヒカゲチョウ、下がクロヒカゲです。よく似てるでしょう？ただ、クロヒカゲと違って、ヒカゲチョウは日本固有種です。



6月中旬 生田緑地 エノキの葉上で占有行動する♂



ヒカゲチョウ♀ 上高地 8月上旬